

主な活動プログラム

◆基礎実験 5・6月(2回)

実験の取り組み方やラボノート(実験ノート)の書き方など活動に必要な基礎知識を学びます。

◆探求課題 7・8月(4~5回)

テーマ別の少人数グループに分かれ、大学の研究室で実験・研究を行います。

◆演示実験開発プログラム 10・11月(4回)

少人数グループに分かれ、身近な科学原理を効果的に再現する装置を考案し、製作します。

◆成果発表会 9月・2月

『探求課題』、『演示実験開発プログラム』で取り組んだ研究成果を発表します。

◆学内外でのポスター発表

大学祭や、活動を支援する財団の成果発表会で、ポスターを用いて研究成果を発表します。

◆施設見学会

大阪府立環境農林水産総合研究所などの公的研究機関や関連施設を見学します。

◆大阪公立大学工業高等専門学校実験プログラム

大阪公立大学工業高等専門学校の教員が企画する実験活動に参加します。

◆理系大学生企画

本学大学生が企画する実験・ワークショップ(共同学習)に参加します。

◆講演会

本学の教員や研究者による研究紹介などを聴講します。

◆夏の科学実験講座 8月

未来の博士育成ラボラトリーの受講生以外の中学生を対象に公開講座を実施します。

💡のマークは、未来の博士育成ラボラトリーの中核となる連続プログラムです。

主に土曜日と夏休みに活動しています。

自ら手を動かし
自ら考えよう!



広い視野から
探求しよう!



高度な課題に
挑戦しよう!



2班「熱中症警告システム」結果

・35℃を超えると、プログラム通りファンが回って警告音が鳴った。
・気温が下がらないと音が止まらない。



発見した成果を
分かりやすく
伝えよう!



〒556-0012
大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル3階
未来の博士育成ラボラトリー事務局
(大阪公立大学 産学官民共創推進室 社会連携担当)

未来の博士育成ラボラトリーWebサイト
<https://www.omu.ac.jp/orp/mirai/>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2026年1月作成

SINCE 2012

中学生対象科学教育事業

未来の博士 育成ラボラトリー

大阪公立大学協創研究センター



科学的視点で国内外の様々な社会課題を捉え、SDGsの達成とSociety5.0の実現を目指す未来社会を支える高度専門人材・イノベーターを育成します。
 大阪公立大学の「総合知」による多彩なSTEAMプログラムでは、体験学習による課題解決を重点に活動しています。

※活動プログラムのテーマは毎年変更します。

基礎実験



演習実験開発プログラム



発電装置



物体の投げ上げと速度の合成

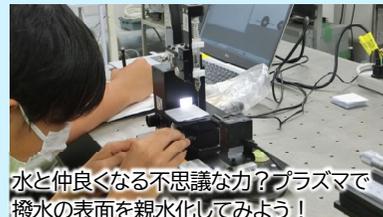


自作顕微鏡による生物観察

探求課題



つくる:冷やす!浮かせる!体験する超伝導



水と仲良くなる不思議な力?プラズマで撥水の表面を親水化してみよう!



分子を数える:ブラウン運動のふしぎ



micro:bitでつくる計測・制御システム

成果発表



発表資料作成



成果発表会



ポスター発表

施設見学会



大阪公立大学高専実験プログラム



理系大学生企画



夏の公開実験講座

受講生以外の中学生を対象に体験型科学実験の公開講座を実施しています。



応募

審査があります。



最新技術に触れたことで、科学の面白さを知り、もっと学びたくなった



自分たちだけで実験するというのが斬新



協力しあうことで様々な視点から物事を見ることが出来た



一緒に楽しもう!



未来の博士育成ラボラトリー

大阪公立大学



中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校生
希望すれば継続活動できます。			中学生をサポート
受講生数:40名程度			



助成

次世代理系人材育成プログラム助成事業
 公益財団法人 中谷財団



連携

共同実施機関
 堺市教育センター
 大阪公立大学工業高等専門学校
 大阪府立環境農林水産総合研究所

小学6年生
 科学に高い関心を持ち意欲的に継続して参加できることが条件です。